

令和 4 年 6 月 3 日現在

機関番号：15301

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19K09528

研究課題名(和文)カプセル化細胞移植で細胞治療のメカニズムに迫る：脳梗塞後うつ症状への応用

研究課題名(英文)Exploration for the mechanisms of cell therapy by encapsulated cell transplantation

研究代表者

安原 隆雄 (Yasuhara, Takao)

岡山大学・医歯薬学域・准教授

研究者番号：50457214

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：慢性虚血モデルラットに対するHMGB1投与は側頭筋を用いた間接血管再建において、血管新生を増強した。Wistar Kyotoラットにおけるうつ様行動は、側脳室内へのカプセル化ラット由来骨髄間質細胞移植により、有意な改善を示した。うつ様行動の改善は、細胞移植によってもたらされる海馬での神経新生増強と関係した。脳梗塞モデルラットに対するヒト骨髄由来多能性幹細胞移植研究で、脳内直接移植とカプセル化細胞移植どちらの方法でも運動機能改善および脳梗塞体積縮小をもたらした。カプセル化細胞移植において生存細胞数増加により、強い神経新生増強効果を確認した。うつ様行動は両治療群で改善を示し、有意差は無かった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

カプセル化細胞移植により、長期間の細胞生存が見込まれ、それにより神経新生が増強されたことは、実臨床の移植方法を考える上でも有益な情報である。また、直接細胞移植と同等の治療効果がカプセル化細胞移植で示されたことは、骨髄由来の様々な細胞が実臨床で用いられているが、その治療効果として様々な栄養因子が極めて大きな役割を果たしていることを示している。うつ様行動が細胞移植によって改善を示したことは、多くのうつ病患者の新しい治療として、細胞療法が重要な役割を果たすことを明らかにしており、今後の臨床応用への重要な一歩になったと考えている。

研究成果の概要(英文)：HMGB1 (High Mobility Group Box-1) administration enhanced angiogenesis in indirect vascular reconstruction for chronic ischemia model rats. Depression-like behavior of Wistar Kyoto rats were improved by encapsulated rat bone marrow-derived mesenchymal stromal cell transplantation into the lateral ventricle. The improvement of depression-like behavior were related to enhanced neurogenesis in the hippocampus.

Encapsulated transplantation and direct transplantation of human bone marrow-derived multipotent stem cells into the brain showed motor function recovery and reduction of the infarct volumes. In encapsulated cell transplantation group, stronger neurogenic potentials were shown by the increase of surviving cells. Depression-like behavior was improved in the both treatment groups without significant differences.

研究分野：脳神経外科学

キーワード：幹細胞 移植治療 カプセル化細胞 うつ病 脳梗塞 神経新生

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

研究開発当初の段階で、我々は、長年中枢神経系疾患に対する再生医療研究を行っていた。脳神経外科臨床の現場では多くの脳卒中患者の治療に当たり、2016年からは、頭部外傷患者に対する細胞移植の国際共同研究にも参画中であった。脳梗塞に対するいくつかの臨床研究が本邦でも始まっていた。我々は、ヒト間葉系幹細胞由来である hMPSC を基礎研究で用いる機会を得て、学内で動物実験計画の承認後、hMPSC を利用できる準備が整っていた。

研究開始当初の段階で、凍結保存後溶解された細胞の直接移植とカプセル化移植について、治療効果を検討した研究は存在していなかった。実臨床において細胞治療の可能性が広がる中にあり、実際の投与方法に準じて移植方法を比較する意義は大きいと考えていた。本研究は、脳梗塞後運動機能評価・脳梗塞体積・脳梗塞後神経新生・脳梗塞後うつ症状に対する細胞治療の作用機序に迫ることを目標として開始された。

2. 研究の目的

本研究では、脳梗塞モデル動物に対して、凍結保存され解凍された hMPSC の直接脳内移植とカプセル化細胞移植の治療効果を比較検討し、さらにうつ様症状に及ぼす影響を明らかにすることを目的とする。カプセル化細胞移植では移植細胞と周囲の神経組織の直接接触が無いため、治療効果があるならば、それは移植される分泌される栄養因子などによる効果と断定できる。また、脳梗塞後の抑うつ状態を含む精神症状は、臨床上、患者の回復を妨げる因子である。どのような機序でうつ症状が現れ、治療介入がどのような効果をもたらすのかを明らかにする基礎研究は非常に意義深いと考える。

3. 研究の方法

本研究を3年間に分けて行ううちに、研究の発展に従い、当初行う予定であった研究以外にも派生的に行った。

A. 内頸動脈閉塞による慢性脳虚血モデルラットを用いて、間接血行再建術を行った。High-Mobility Group Box-1 を併用することにより、血管新生が増強するかどうかを行動学的・組織学的に評価した。

B. うつ様行動を呈する Wistar Kyoto ラットに対して、脳内直接移植あるいはカプセル化細胞移植を行った。細胞としては、ラット由来の骨髄間質細胞を用いた。行動学的評価・組織学的評価を行った。

C. 当初研究予定の研究であり、hMPSC を用いて、一過性中大脳動脈閉塞による脳梗塞モデルラットに対して、脳内直接移植あるいはカプセル化細胞移植を行い、治療効果を検討する。以下、方法を少し詳しく項目別に記載する。

1. hMPSC を凍結後速やかにカプセル化し、*in vitro*, *in vivo* に細胞生存を確認する。
2. 一過性中大脳動脈閉塞（90分）による脳梗塞モデルラットを作製し、運動機能とうつ様症状を行動学的に確認する。
3. 脳梗塞モデル作製に際し、血流遮断時の脳血流低下をエコーで計測・記録する。
4. Nissl 染色、H&E 染色、MAP2 染色などを用い、脳梗塞の範囲・部位を確認し、運動機

能とうつ様症状との関係を明らかにする。

5. 脳梗塞モデルラットに hMPSC を直接、あるいはカプセル化細胞の形で、移植する。対照群もそれぞれに対して作製し、運動機能、うつ様症状、組織学的評価を行う。
6. 神経新生の程度、神経前駆細胞の遊走も組織学的に評価する。屠殺の 48 時間前から BrdU (bromodeoxyuridine) を 5 回腹腔内投与して増殖細胞を標識する。
7. 栄養因子、炎症性サイトカイン、免疫担当細胞、ストレス関連臓器などについて評価する。
8. 全ての個体の詳細なデータを入手し、個体ごとの体重変化、脳血流低下、梗塞範囲・部位、運動機能、うつ様症状、神経新生の変化、免疫・ストレス関連の影響の相関性を評価する。

4. 研究成果

- A. 慢性虚血モデルラットに対する HMGB1 投与は側頭筋を用いた間接血行再建において、血管新生を増強した。(Nishihira S, et al. *Neuromolecular Med* 2019)
- B. Wistar Kyoto ラットにおけるうつ様行動は、側脳室内へのカプセル化ラット由来骨髄間質細胞移植により、有意な改善を示した。また、うつ様行動の改善は、細胞移植によってもたらされる海馬での神経新生増強と関係した。(Kin K, et al. *Psychiatry* 2020)
- C. 脳梗塞モデルラットに対する hMPSC 直接脳内移植 vs. カプセル化細胞移植
3 年間にわたり、様々な研究を行った。

まず hMPSC は脳内直接移植、カプセル化細胞移植どちらの方法によっても、運動機能改善および脳梗塞体積縮小をもたらしたが、2 治療群間に有意差はみられなかった。一方、神経新生増強に関しては、カプセル化細胞移植において有意な強い治療効果を確認することができた。その作用機序としては、移植後 1 週間・2 週間における生存細胞数に差異が認められたことが関係するかもしれない。すなわち、移植細胞から、より長期間にわたり栄養因子を宿主脳内に供給することができたことが、カプセル化 hMPSC 移植による優位性の源となっているかもしれない。うつ様行動に関しては、どちらの治療群も若干の改善を示したが、両群間の差異はなく、引き続き検討を続けている。本研究において、脳梗塞体積と行動学的評価は強い相関性を示し、神経新生の増強程度が増すほど、行動学的評価は改善し、脳梗塞体積が縮小していることが示された。これは、本研究データ全体の信頼性を示すものであると考えている。2021 年の日本脳神経外科学会学術総会で演題発表し、現在、*Stem Cells* 誌への論文投稿中である。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計36件（うち査読付論文 36件／うち国際共著 5件／うちオープンアクセス 15件）

1. 著者名 Tomita Y, Shimazu Y, Kawakami M, Matsumoto H, Fujii K, Kameda M, Yasuhara T, Suruga Y, Ota T, Kimata Y, Kurozumi K, Date I	4. 巻 75(2)
2. 論文標題 Pyogenic ventriculitis after anterior skull base surgery treated with endoscopic ventricular irrigation and reconstruction using a vascularized flap	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Acta Medica Okayama	6. 最初と最後の頁 243-248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18926/AMO/61908	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Murai S, Hiramatsu M, Suzuki E, Ishibashi R, Takai H, Miyazaki Y, Takasugi Y, Yamaoka Y, Nishi K, Takahashi Y, Harum J, Hishikawa T, Yasuhara T, Chin M, Matsubara S, Uno M, Tokunaga K, Sugiu K, Date I, on behalf of the Okayama Cranial and Spinal A-V shunts (OCSS) Study Group	4. 巻 52(4)
2. 論文標題 Trends in incidence of intracranial and spinal arteriovenous shunts: Hospital-based surveillance in Okayama, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Stroke	6. 最初と最後の頁 1455-1459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1161/STROKEAHA.120.032052	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Hishikawa T, Murai S, Hiramatsu M, Haruma J, Nishi K, Ebisudani Y, Sato Y, Yasuhara T, Sugiu K, Shimizu K, Kobayashi M, Nakagawa K, Kimura-Ono A, Hotta K, Morimatsu H, Date I	4. 巻 61(7)
2. 論文標題 An evaluation of the safety and feasibility of adenosine-assisted clipping surgery for unruptured cerebral aneurysms: study protocol	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurologica medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 393-396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.st.2021-0018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Kin I, Sasaki T, Yasuhara T, Kameda M, Agari T, Okazaki M, Hosomoto K, Okazaki Y, Yabuno S, Kawauchi S, Kuwahara K, Morimoto J, Kin K, Umakoshi M, Tomita Y, Tajiri N, Borlongan CV, Date I	4. 巻 9(7):789
2. 論文標題 Vagus nerve stimulation with mild stimulation intensity exerts anti-inflammatory and neuroprotective effects in Parkinson's disease model rats	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Biomedicines	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/biomedicines9070789	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Umakoshi M , Yasuhara T , Morimoto J , Murai S , Sasaki T , Kameda M , Kin K , Miyoshi Y , Date I	4. 巻 61(10)
2. 論文標題 Spinal Surgery after bilateral subthalamic stimulation for patients with Parkinson's disease: a retrospective outcome analysis of pain and functional control	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Neurologia medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 607-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.oa.2021-0094	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiramatsu M , Ishibashi R , Suzuki E , Miyazaki Y , Murai S , Takai H , Takasugi Y , Yamaoka Y , Nishi K , Takahashi Y , Haruma J , Hishikawa T , Yasuhara T , Chin M , Matsubara S , Uno M , Tokunaga K , Sugiu K , Date I	4. 巻 -
2. 論文標題 Incidence and clinical characteristics of spinal arteriovenous shunts: hospital-based surveillance in Okayama, Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Neurosurgery Spine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3171/2021.7.SPINE21233	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 31(4)
2. 論文標題 新時代のspinal surgery	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 622-626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川 敦、牛尾聡一郎、亀田雅博、横木 梓、棕田千晶、江角 悟、渡邊亜津子、村川公央、安原隆雄、北村佳久、伊達 勲、千堂年昭	4. 巻 47(8)
2. 論文標題 三叉神経痛に対して牛車腎気丸および柴苓湯の併用が有効であった1例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 医療薬学	6. 最初と最後の頁 445-451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 49(5)
2. 論文標題 脳神経外科領域における手術部位感染	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経外科速報	6. 最初と最後の頁 1093-1104
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安原隆雄、佐々田晋、伊達 勲	4. 巻 49(6)
2. 論文標題 腰椎変性疾患のパリエーション 診断におけるポイントは？	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 脳神経外科	6. 最初と最後の頁 1233-1245
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhara T , Kawauchi S , Kin K , Morimoto J , Kameda M , Sasaki T , Bonsack B , Kingsbury C , Tajiri N , Borlongan CV , Date I	4. 巻 26(6)
2. 論文標題 Cell therapy for central nervous system disorders: Current obstacles to progress	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 CNS Neuroscience & Therapeutics	6. 最初と最後の頁 592-602
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cns.13247.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kurozumi K , Fujii K , Shimazu Y , Tomita Y , Sasaki T , Yasuhara T , Hishikawa T , Kameda M , Kumon H , Date I	4. 巻 16(6)
2. 論文標題 Study protocol of a Phase I/IIa clinical trial of Ad-SGE-REIC for treatment of recurrent malignant glioma	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Future Oncology	6. 最初と最後の頁 151-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2217/fon-2019-0743.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kameda M, Hishikawa T, Hiramatsu M, Yasuhara T, Kurozumi K, Date I	4. 巻 10(1):3507
2. 論文標題 Precise MEP monitoring with a reduced interval is safe and useful for detecting permissive duration for temporary clipping	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-020-60377-9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kidani N, Hishikawa T, Hiramatsu M, Nishihiro S, Kin K, Takahashi Y, Murai S, Sugi K, Yasuhara T, Miyazaki I, Asanuma M, Date I	4. 巻 21(11):4137.
2. 論文標題 Cerebellar blood flow and gene expression in crossed cerebellar diaschisis after transient middle cerebral artery occlusion in rats	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21114137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kuwahara K, Sasaki T, Yasuhara T, Kameda M, Okazaki Y, Hosomoto K, Kin I, Okazaki M, Yabuno S, Kawauchi S, Tomita Y, Umakoshi M, Kin K, Morimoto J, Lee J-Y, Tajiri N, Borlongan CV, Date I	4. 巻 16;12:164.
2. 論文標題 Long-term continuous cervical spinal cord stimulation exerts neuroprotective effects in experimental Parkinson's disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Frontiers in Aging Neuroscience	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fnagi.2020.00164	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhara T, Murai S, Mikuni N, Miyamoto S, Date I	4. 巻 60(7)
2. 論文標題 Japanese national questionnaire survey in 2018 on complications related to cranial implants in neurosurgery	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurologia Medico-chirurgica	6. 最初と最後の頁 337-350
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2176/nmc.oa.2020-0051	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hiramatsu M, Sugi K, Yasuhara T, Hishikawa T, Haruma J, Takahashi Y, Murai S, Nishi K, Yamaoka Y, Date I	4. 巻 62(10)
2. 論文標題 Detection of the common origin of the radiculomedullary artery with the feeder of spinal dural arteriovenous fistula using slab maximum intensity projection image	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neuroradiology	6. 最初と最後の頁 1285-1292
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00234-020-02466-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasada S, Hiramatsu M, Kusumegi A, Fujimura H, Oshikata S, Takahashi Y, Nishida K, Yasuhara T, Date I	4. 巻 17(4)
2. 論文標題 Arteriovenous fistula at the craniocervical junction found after cervical laminoplasty for ossification of the posterior longitudinal ligament	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neurospine	6. 最初と最後の頁 947-953
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14245/ns.2040200.100	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 安原隆雄、守本 純、金 恭平、佐々木達也、伊達 勲	4. 巻 34(1)
2. 論文標題 脊髄電気刺激は神経保護効果を有するか パーキンソン病の再生医療	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脊髄外科 SPINAL SURGERY	6. 最初と最後の頁 90-91
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 金 恭平、安原隆雄、守本 純、馬越通有、富田陽介、伊達 勲	4. 巻 34(1)
2. 論文標題 術前Short Form-36は脊椎変性疾患術後せん妄発症を予測する	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脊髄外科 SPINAL SURGERY	6. 最初と最後の頁 95-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 3(11)
2. 論文標題 脳・神経疾患における再生医療の最前線	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Precision Medicine	6. 最初と最後の頁 980-983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 胡谷侑貴、安原隆雄、亀田雅博、福原 徹、伊達 勲	4. 巻 29(10)
2. 論文標題 両側びまん性脈絡叢過形成の1例 両側びまん性脈絡叢過形成、両側脈絡叢乳頭腫に対する外科的治療に関する文献的レビュー	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脳神経外科ジャーナル	6. 最初と最後の頁 726-734
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 富田陽介、守本 純、佐々田晋、井本良二、馬越通有、金 恭平、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 34(3)
2. 論文標題 Chiari奇形1型の手術におけるデュラウェーブRを用いた硬膜形成	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 脊髄外科 SPINAL SURGERY	6. 最初と最後の頁 317-319
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiramatsu M, Sugiu K, Yasuhara T, Hishikawa T, Nishihiro S, Kidani N, Takahashi Y, Murai S, Date I	4. 巻 13(3)
2. 論文標題 Comparison between spinal dural arteriovenous fistula and spinal epidural arteriovenous fistula	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Neuroendovascular Therapy	6. 最初と最後の頁 114-119
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishihiro S , Hishikawa T , Hiramatsu M , Kidani N , Takahashi Y , Murai S , Sugiu K , Higaki Y , Yasuhara T , Borlongan CV , Date I	4. 巻 21(4)
2. 論文標題 High-mobility group box-1-induced angiogenesis after indirect bypass surgery in a chronic cerebral hypoperfusion model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Neuromolecular Medicine	6. 最初と最後の頁 391-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12017-019-08541-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kin K, Yasuhara T, Kawauchi S, Kameda M, Hosomoto K, Tomita Y, Umakoshi M, Kuwahara K, Kin I, Kidani N, Morimoto J, Sasaki T, Date I	4. 巻 1717
2. 論文標題 Lithium counteracts depressive behavior and augments the treatment effect of selective serotonin reuptake inhibitor in treatment-resistant depressed rats	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Research	6. 最初と最後の頁 52-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.brainres.2019.04.001.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kin K, Yasuhara T, Tomita Y, Umakoshi M, Morimoto J, Date I	4. 巻 -
2. 論文標題 SF-36 scores predict postoperative delirium after surgery for cervical spondylotic myelopathy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Neurosurgery. Spine	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3171/2018.11.SPINE181031.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kin K , Yasuhara T , Borlongan CV , Date I	4. 巻 4(3)
2. 論文標題 Encapsulated stem cells ameliorate depressive-like behavior via growth factor secretion	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Circulation	6. 最初と最後の頁 128-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4103/bc.bc_17_18.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Sasaki T , Kuwahara K , Kin I , Okazaki M , Sasada S , Shinko A , Kameda M , Yasuhara T , Agari T , Date I	4. 巻 17(3)
2. 論文標題 Identification of somatotopic organization and optimal stimulation site within the subthalamic nucleus for Parkinson's disease	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Operative Neurosurgery (Hagerstown, Md.)	6. 最初と最後の頁 239-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ons/opy351.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Okuma Y , Wake H , Teshigawara K , Takahashi Y , Hishikawa T , Yasuhara T , Mori S , Takahashi HK , Date I , Nishibori M	4. 巻 122
2. 論文標題 Anti-high mobility group box 1 antibody therapy may prevent cognitive dysfunction after traumatic brain injury	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 World Neurosurgery	6. 最初と最後の頁 e864-e871
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2018.10.164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomita Y , Kurozumi K , Inagaki K , Kameda M , Ishida J , Yasuhara T , Ichikawa T , Sonoda T , Otsuka F , Date I	4. 巻 16
2. 論文標題 Delayed postoperative hyponatremia after endoscopic transsphenoidal surgery for pituitary adenoma	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Neurochirurgica (Wien)	6. 最初と最後の頁 707-715
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kin K, Yasuhara T, Kameda M, Date I	4. 巻 -
2. 論文標題 Animal models for parkinson's disease research: Trends in the 2000s	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Institute	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms20215402	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shear A , Nishihiro S , Hishikawa T , Hiramatsu M , Sugiu K , Yasuhara T , Date I	4. 巻 5(3)
2. 論文標題 Cerebral circulation improves with indirect bypass surgery combined with gene therapy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Brain Circulation	6. 最初と最後の頁 119-123
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4103/bc.bc_33_19.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhara T	4. 巻 -
2. 論文標題 Neurobiology research in Parkinson' disease	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Molecular Sciences	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/ijms21030793	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 金 恭平、安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 45(3)
2. 論文標題 中枢神経系疾患における神経新生とうつ病様症状 細胞移植、電気刺激、リハビリテーションによる治療	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Medical Science Digest (MSD)	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 桑原 研、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、金 一徹、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、馬越通有、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲	4. 巻 58
2. 論文標題 パーキンソン病モデルラットに対する持続脊髄電気刺激療法の有用性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 機能的脳神経外科	6. 最初と最後の頁 45-51
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計170件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 6件）

1. 発表者名 春間 純、杉生憲志、胡谷侑貴、枝木久典、佐藤 悠、西 和彦、山岡陽子、村井 智、平松匡文、菱川朋人、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 光造形型3Dプリンタで作成した脳動脈瘤モデルでの術前シミュレーションが有用であった新規脳動脈瘤支援ステントデバイスPulseRiderを用いた1例
3. 学会等名 第91回（一社）日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、菱川朋人、藤井謙太郎、森松博史、伊達 勲
2. 発表標題 80歳以上の超高齢者脊椎脊髄症例に対する手術をいかに安全に行うかー周術期管理センターの有用性ー（シンポジウム）
3. 学会等名 第34回日本老年脳神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 腰椎変性疾患の治療ー「グローバル」な理解を实践（プレナリーセッション）
3. 学会等名 第41回日本脳神経外科コンgres総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎脊髄手術における超音波手術器の可能性ー新型SONOPET iQの初期使用経験も交えてー（ランチョンセミナー）
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 キアリ奇形・癒着性くも膜炎に関する再手術について（シンポジウム）
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 馬越通有、安原隆雄、村井 智、佐々木達也、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 脳深部刺激は、PD患者における腰椎手術後の全身合併症を減少させる
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、菅原千明、藪野 諭、富田陽介、伊達 勲
2. 発表標題 後頭骨の高度な肥厚を伴う狭小後頭蓋窩により外科治療を要した2例
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、菅原千明、河内 哲、伊達 勲
2. 発表標題 新しい脊椎ナビゲーションを用いた神経根嚢胞に対する外科治療の1例
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 転倒を契機に脊髄損傷をきたし、外科的治療を要した頸椎病変の2症例
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、岡崎洋介、皮居巧嗣、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 側頭葉てんかんの術後成績と再発例に対する再手術の検討
3. 学会等名 第75回岡山てんかん懇話会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、河内 哲、藪野 諭、菅原千明、富田陽介、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 高度な後頭骨肥厚による狭小後頭蓋窩に対する外科治療
3. 学会等名 第33回日本頭蓋底外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、岡崎洋介、皮居巧嗣、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 脳腫瘍関連てんかんに対する外科治療の手術戦略－内側側頭葉てんかんと新皮質てんかんの違いについて－
3. 学会等名 第34回中国地方脳神経外科手術研究会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 難治性癒着性くも膜炎に対するシャント治療
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、藪野 諭、馬越通有、富田陽介、河内 哲、伊達 勲
2. 発表標題 片側椎弓切除により摘出を行った小児腰部脊柱管内類皮嚢腫の1例
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、小橋藍子、水田 亮、富田陽介、平松匡文、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎手術の骨削除における、超音波骨メスSonopet iQの使用経験
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、藪野 諭、富田陽介、永瀬喬之、菅原千明、河内 哲、伊達 勲
2. 発表標題 Augmented reality（拡張現実技術）を用いたCurveTMナビゲーションシステムの使用経験
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、守本 純、水田 亮、細本 翔、木村 颯、小川智之、小林和樹、伊達 勲
2. 発表標題 片側横突孔を含むC2関節突起間部骨折にC1-3固定を施行し、良好な骨癒合を得られた1例
3. 学会等名 第28回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、佐々田晋、富田陽介、藪野 諭、菅原千明、永瀬喬之、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 中大脳動脈閉塞モデルラットに対するカプセル化ヒト骨髄由来間葉系幹細胞の脳内移植による治療効果の検討
3. 学会等名 第21回日本分子脳神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎・脊髄腫瘍手術の執刀医になるために 術前検討から難局打破の一手まで （ビデオシンポジウム）
3. 学会等名 （一社）日本脳神経外科学会第80回学術総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、河内 哲、菅原千明、藪野 諭、富田陽介、伊達 勲
2. 発表標題 頭蓋骨の高度な肥厚に伴い後頭蓋窩狭小化を来たし、外科治療を要した2例
3. 学会等名 （一社）日本脳神経外科学会第80回学術総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木達也、皮居巧嗣、岡崎洋介、細本 翔、佐々田晋、安原隆雄、上利 崇、伊達 勲
2. 発表標題 多機能を有する脳深部刺激療法デバイスの最適な刺激設定と調節法の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、佐々田晋、富田陽介、藪野 諭、菅原千明、永瀬喬之、伊達 勲
2. 発表標題 脳梗塞モデルラットに対するカプセル化ヒト骨髄由来間葉系幹細胞の脳内移植による治療効果の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、河内 哲、菅原千明、永瀬喬之、細本 翔、岡崎洋介、皮居巧嗣、富田陽介、佐々木達也、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 ラット脳虚血モデルへのヒト骨髄由来多能性幹細胞(SB623)の脳内移植とリハビリテーションの相乗効果の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 牧野圭悟、大谷理浩、藤井謙太郎、石田穰治、畝田篤仁、坪井伸成、平野秀一郎、劔持直也、駿河和城、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 聴神経腫瘍における初回治療後の増大因子の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、皮居巧嗣、永瀬喬之、菅原千明、岡崎洋介、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、金 一徹、桑原 研、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 迷走神経求心路刺激・遠心路刺激のパーキンソン病モデルラットに対する有効性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、佐々田晋、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、永瀬喬之、伊達 勲
2. 発表標題 神経症状の急激な悪化により緊急・準緊急を要した非骨傷性脊椎脊髓疾患症例の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、皮居巧嗣、永瀬喬之、菅原千明、藪野 諭、細本 翔、河内 哲、富田陽介、金 一徹、桑原 研、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 てんかんモデルラットに対する持続硬膜外脊髄刺激療法の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 松田勇輝、大谷理浩、安原隆雄、安藤瑞生、檜垣貴哉、牧野琢丸、松本 洋、大山矩史、西森久和、伊達 勲
2. 発表標題 RB1遺伝子germline変異を伴う放射線誘発骨肉腫に対する広範囲頭蓋底腫瘍摘出・再建術
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永瀬喬之、石田穰治、佐々田晋、佐々木達也、大谷理浩、藪野 諭、藤井謙太郎、畝田篤仁、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 大孔部減圧術を施行し、症状の改善が得られた脳幹部diffuse astrocytoma IDH-mutantの1例
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 駿河和城、大谷理浩、劔持直也、平野秀一郎、牧野圭悟、坪井伸成、畝田篤仁、石田穰治、藤井謙太郎、安原隆雄、古田知久、鷲尾佳奈、柳井広之、伊達 勲
2. 発表標題 当院における毛様細胞性星細胞腫の治療検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大熊 佑、篠崎光一郎、林田 敬、J Kevin Traccy、菱川朋人、安原隆雄、大同 茂、伊達 勲、B Lance Becker
2. 発表標題 虚血再灌流障害急性期におけるnear-infrared spectroscopyでのモニタリングの有用性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第80回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大熊 佑、篠崎広一郎、林田 敬、トレイシー ケビン、菱川朋人、安原隆雄、大同 茂、伊達 勲、ベッカー ランス
2. 発表標題 げっ歯類を用いた虚血再灌流障害の機序研究
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会(現地・Web併催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平松匡文、杉生憲志、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 Osseous involvementを伴う脊髄硬膜外動静脈瘻（シンポジウム）
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 平松匡文、杉生憲志、安原隆雄、菱川朋人、春間 純、村井 智、西 和彦、山岡陽子、佐藤 悠、胡谷侑貴、伊達 勲
2. 発表標題 Cone-beam CTを用いたlateral spinal arteryの正常解剖と頭蓋頸椎移行部動静脈瘻の血管解剖の解析（シンポジウム）
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 村井 智、高杉祐二、平松匡文、鈴木越治、石橋良太、宮崎裕子、春間 純、菱川朋人、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 脳脊髄動静脈シャント疾患の罹患率に対して地域性が与える影響
3. 学会等名 第37回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、安原隆雄、松田勇輝、伊達 勲
2. 発表標題 胸椎脊髄ヘルニアの硬膜欠損に対して、DuraGenRを用いた1例
3. 学会等名 第92回（一社）日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 牧野圭悟、大谷理浩、駿河和城、劔持直也、平野秀一郎、坪井伸成、畝田篤仁、石田穰治、藤井謙太郎、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 聴神経鞘腫における初回治療後の増大因子の検討
3. 学会等名 第39回日本脳腫瘍学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 駿河和城、里見介史、大谷理浩、劔持直也、平野秀一郎、牧野圭悟、坪井伸成、畝田篤仁、石田穰治、藤井謙太郎、安原隆雄、古田知久、鷲尾佳奈、柳生広之、市村幸一、伊達 勲
2. 発表標題 当院における毛様細胞性星細胞腫の予後因子に関する検討
3. 学会等名 第39回日本脳腫瘍学会学術集会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、岡崎洋介、皮居巧嗣、佐々田晋、土屋弘樹、秋山倫之、小林勝弘、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 当院における小児のてんかん外科の手術 focal epilepsyとepileptic spasmの治療方針の決定について（シンポジウム）
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、岡崎洋介、皮居巧嗣、佐々田晋、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 当院における前頭葉てんかんの手術成績とMRI陰性例の検討
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、皮居巧嗣、細本 翔、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 ニューロモデュレーション治療と植込み型心臓デバイス治療の併用における注意点と安全性について
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 皮居巧嗣、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 石灰化を伴う限局性皮質異形形成II型に類似した孤発性皮質結節の1例
3. 学会等名 第45回日本てんかん外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、岡崎洋介、皮居巧嗣、大谷理浩、佐々田晋、石田穰治、藤井謙太郎、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 定位脳手術の現在・将来の役割とスキル習得 DBS、脳生検、細胞移植、ウイルス・遺伝子治療、SEEG（シンポジウム）
3. 学会等名 第61回日本定位・機能神経外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、島津洋介、牟礼英生、岡崎洋介、皮居巧嗣、佐々田晋、安原隆雄、吉岡純二、土井章弘、伊達 勲
2. 発表標題 本態性振戦に対するMRガイド集束超音波治療の初期経験
3. 学会等名 第61回日本定位・機能神経外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、岡崎洋介、皮居巧嗣、永瀬喬之、菅原千明、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、金 一徹、桑原 研、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 迷走神経求心路刺激・遠心路刺激のパーキンソン病モデルラットに対する有効性
3. 学会等名 第61回日本定位・機能神経外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岡崎洋介、馬越通有、安原隆雄、村井 智、佐々木達也、皮居巧嗣、細本 翔、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎手術を施行したパーキンソン病患者の解析 両側視床下核刺激療法は脊椎手術後成績を良好に維持するために重要である
3. 学会等名 第61回日本定位・機能神経外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 皮居巧嗣、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、畝田篤仁、大谷理浩、石田穰治、藤井謙太郎、佐々田晋、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 当科におけるLeksell定位脳生検術の有用性と課題
3. 学会等名 第61回日本定位・機能神経外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、河内 哲、菅原千明、永瀬喬之、佐々木達也、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 ラット脳虚血モデルに対するヒト骨髄由来加工間質細胞の脳内移植とリハビリテーションの相乗効果の検討
3. 学会等名 第47回岡山脳研究セミナー
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、安原隆雄、皮居巧嗣、岡崎洋介、兵頭勇紀、柴田 敬、佐々田晋、小林勝弘、柳井広之、伊達 勲
2. 発表標題 石灰化を伴う限局性皮質形成異常 type II に類似した結節性硬化症の1例
3. 学会等名 第16回日本てんかん学会中国・四国地方会（Web・誌上開催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安原隆雄、佐々田晋、伊達 勲
2. 発表標題 軸椎歯突起骨折を含む頸椎骨折に対する保存的治療
3. 学会等名 第45回日本脳神経外傷学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、佐々田晋、河内 哲、藪野 論、永瀬喬之、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 神経症状の急激な悪化のため早急に手術し、予後良好であった非骨傷性頸椎疾患症例の検討
3. 学会等名 第45回日本脳神経外傷学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安原隆雄、平松匡文、杉生憲志、菱川朋人、春間 純、村井 智、佐々田晋、松田勇輝、伊達 勲
2. 発表標題 急速に両下肢麻痺が進行した複雑な胸腰髄動静脈短絡疾患の1例
3. 学会等名 第47回日本脳卒中学会学術集会：STROKE 2022（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平松匡文、杉生憲志、安原隆雄、菱川朋人、春間 純、村井 智、西 和彦、山岡陽子、佐藤 悠、胡谷侑貴、枝木久典、木村 颯、伊達 勲
2. 発表標題 Lateral spinal artery正常解剖と頭蓋頸椎移行部動静脈瘻におけるlateral spinal arteryの温存の重要性
3. 学会等名 第51回日本脳卒中の外科学会学術集会：STROKE 2022（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 菱川朋人、村井 智、平松匡文、春間 純、西 和彦、胡谷侑貴、佐藤 悠、安原隆雄、杉生憲志、清水一好、小林 求、中川 晃、大野 彩、堀田勝幸、森松博史、伊達 勲
2. 発表標題 アデノシンを使用した未破裂脳動脈瘤クリッピング術の安全性の検討
3. 学会等名 第51回日本脳卒中の外科学会学術集会：STROKE 2022（現地・Web併催）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 脊椎・脊髄外傷 これだけは知っておきたい！（教育講演）
3. 学会等名 第44回日本脳神経外傷学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 脳神経外科・脊椎脊髄外科領域における手術の工夫（ランチョンセミナー）
3. 学会等名 第14回日本整容脳神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高見俊宏、安原隆雄、尾原裕康、金 彪
2. 発表標題 脊髄腫瘍手術における技術的費用試算（シンポジウム）
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々田晋、守本 純、水田 亮、細本 翔、外間まどか、小川智之、安原隆雄、小林和樹
2. 発表標題 ハングマン骨折に対して内固定を行い、良好な骨癒合が得られた1例
3. 学会等名 第36回日本脊髄外科学会（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 脊椎脊髄診療に軸足を置いた脳神経外科
3. 学会等名 第39回ニセコカンファレンス（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 基礎研究－臨床研究－実臨床 つながる脳神経外科：ペリプラスト(R)Pコンピセットの使用法も交えて（イブニングセミナー）
3. 学会等名 第21回日本分子脳神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川上真人、平松匡文、安原隆雄、杉生憲志、菱川朋人、高橋 悠、村井 智、西 和彦、山岡陽子、伊達 勲
2. 発表標題 巨大小脳動静脈奇形に対する経動脈塞栓術により合併した脊髓空洞症の改善を認めた1例
3. 学会等名 第89回（一社）日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、馬越通有、菱川朋人、黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、平松匡文、島津洋介、佐々木達也、春間 純、伊達 勲
2. 発表標題 80歳以上の高齢者脊椎症例に対する手術 周術期の問題点と周術期管理センターの有用性（シンポジウム）
3. 学会等名 第33回日本老年脳神経外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、亀田雅博、河内 哲、藪野 諭、菱川朋人、平松匡文、西廣真吾、黒住和彦、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 脳虚血に対する基礎研究 我々の経験と今後の展望
3. 学会等名 第45回日本脳卒中学会学術集会：STROKE 2020（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平松匡文、菱川朋人、安原隆雄、高橋 悠、村井 智、西 和彦、山岡陽子、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 Fusion画像を用いた頭蓋内・脊髄動静脈瘻の直達術前シミュレーション
3. 学会等名 第49回日本脳卒中の外科学会学術集会：STROKE 2020（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平松匡文、石橋良太、高井洋樹、村井 智、鈴木越治、宮崎裕子、高橋 悠、木谷尚哉、菱川朋人、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 岡山県における脊椎脊髄動静脈シャント疾患の悉皆調査
3. 学会等名 第49回日本脳卒中の外科学会学術集会：STROKE 2020（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 村井 智、平松匡文、石橋良太、高井洋樹、鈴木越治、山岡陽子、西 和彦、高橋 悠、菱川朋人、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 岡山県における脳脊髄動静脈シャント疾患の悉皆調査（シンポジウム）
3. 学会等名 第49回日本脳卒中の外科学会学術集会：STROKE 2020（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、島津洋介、坪井伸成、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 フルHD・4K・8Kシステムによる内視鏡下経鼻的経蝶形骨洞手術（シンポジウム）
3. 学会等名 第29回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島津洋介、藤井謙太郎、黒住和彦、安原隆雄、竹内加恵、小銭知代、山岡純三、伊達 勲
2. 発表標題 当院でのNovo TTF-100A（オプチューン）治療における整容面に配慮し多職種間の連携
3. 学会等名 第29回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、岡崎洋介、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 てんかん外科手術における慢性頭蓋内電極留置を安全、確実に行うための工夫
3. 学会等名 第29回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、馬越通有、伊達 勲
2. 発表標題 頸椎症性脊髄症に対する治療戦略 椎弓形成術者の立場から (主題)
3. 学会等名 第27回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会 (Web開催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 亀田雅博、黒住和彦、藤井謙太郎、島津洋介、石田穰治、安原隆雄、市川智継1、小野成紀、伊達 勲
2. 発表標題 小児脳室内・脳室近傍腫瘍による閉塞性水頭症に対する第3脳室底開窓術の長期成績 成人症例との比較から (シンポジウム)
3. 学会等名 第27回一般社団法人日本神経内視鏡学会 (現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西 和彦、木谷尚哉、杉生憲志、菱川朋人、安原隆雄、平松匡文、西廣真吾、高橋 悠、村井 智、山岡陽子、佐藤 悠、胡谷侑貴、伊達 勲
2. 発表標題 ラット中大脳動脈閉塞モデルにおけるcrossed cerebellar diaschisis
3. 学会等名 第63回日本脳循環代謝学会学術集会 (現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、馬越通有、河内 哲、藪野 諭、菅原千明、伊達 勲
2. 発表標題 大学病院脳神経外科脊椎脊髄外科医の臨床・教育・研究・学会・私生活
3. 学会等名 第35回日本脊髄外科学会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 馬越通有、安原隆雄、佐々木達也、村井 智、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎手術後のパーキンソン病患者の術後転帰の予測因子
3. 学会等名 第35回日本脊髄外科学会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、平松匡文、馬越通有、富田陽介、藪野 諭、亀田雅博、菱川朋人、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 当科における脊髄硬膜・硬膜外動静脈瘤の治療戦略
3. 学会等名 第35回日本脊髄外科学会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、亀田雅博、菅原千明、河内 哲、富田陽介、馬越通有、伊達 勲
2. 発表標題 脊髄悪性神経膠腫の治療
3. 学会等名 第35回日本脊髄外科学会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、馬越通有、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 80歳以上の高齢者脊椎症例に対する手術周術期の問題点と対策
3. 学会等名 第35回日本脊髄外科学会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀 佑輔、安原隆雄、菱川朋人、伊達 勲
2. 発表標題 クリーブランドクリニック脳神経外科 臨床リサーチフェローの生活 （シンポジウム）
3. 学会等名 （一社）日本脳神経外科学会第79回学術総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、馬越通有、菱川朋人、亀田雅博、藤井謙太郎、平松匡文、島津洋介、佐々木達也、春間 純、森松博史、伊達 勲
2. 発表標題 80歳以上の超高齢者脊椎脊髄症例に対する手術 周術期の問題点と周術期管理センターの有用性
3. 学会等名 （一社）日本脳神経外科学会第79回学術総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 木谷尚哉、杉生憲志、菱川朋人、安原隆雄、平松匡文、西廣真吾、高橋 悠、村井 智、伊達 勲
2. 発表標題 ラット中大脳動脈閉塞モデルにおけるcrossed cerebellar diaschisis 小脳血流と遺伝子発現解析
3. 学会等名 （一社）日本脳神経外科学会第79回学術総会（現地・Web併催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、亀田雅博、馬越通有、富田陽介、藪野 諭、菅原千明、伊達 勲
2. 発表標題 脳梗塞モデルラットに対するカプセル化SB623脳内移植による治療効果の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、亀田雅博、菅原千明、河内 哲、富田陽介、伊達 勲
2. 発表標題 脊髄悪性神経膠腫の治療
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎脊髄腹臥位手術における整容面の工夫
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、金 一徹、桑原 研、岡崎洋介、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、馬越通有、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 迷走神経求心路刺激・遠心路刺激のパーキンソン病モデルラットに対する有効性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、上利 崇、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 当院における小児のてんかん外科手術51症例の治療成績と精神発達の変化の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山岡陽子、土方保和、安原隆雄、杉生憲志、菱川朋人、平松匡文、春間 純、高橋 悠、村井 智、西 和彦、佐藤 悠、胡谷侑貴、伊達 勲
2. 発表標題 未破裂脳動脈瘤開頭術後慢性硬膜下血腫発生と脳萎縮の関連性の検証
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 駿河和城、安原隆雄、河内 哲、馬越通有、富田陽介、藪野 諭、亀田雅博、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎脊髄悪性リンパ腫の4例
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 外間まどか、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝之、伊達 勲
2. 発表標題 徐波睡眠期持続性棘徐波をもつてんかん(CSWS)に対する脳梁離断術の有用性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第79回学術総会(現地・Web併催)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、井川房夫、伊達 勲
2. 発表標題 脳神経外科領域のSSIとその対策（シンポジウム）
3. 学会等名 第33回日本外科感染症学会総会（Web開催）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 ハイブリット開催の事例（国内会議） 日本脳神経外科学会第79回学術総会
3. 学会等名 一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー（JCCB）特別企画セミナー Withコロナ時代におけるMICEの促進について（Web開催） オンライン
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 駿河和城、佐々木達也、米田 哲、亀田雅博、安原隆雄、柴田 敬、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 頭部外傷後West症候群に対して半球離断術を施行した1例
3. 学会等名 第90回（一社）日本脳神経外科学会中国四国支部学術集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 限局性皮質異形成に対するてんかん外科手術の手術成績と発作時頭蓋内脳波の検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、岡崎洋介、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 側頭葉てんかんの術後成績と再発例に対する再手術の検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会 (Web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 当院における小児のてんかん外科手術の治療成績と神経発達の変化の検討
3. 学会等名 第44回日本てんかん外科学会 (Web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、上利 崇、伊達 勲
2. 発表標題 多機能を有する脳深部刺激療法デバイスの最適な刺激設定と調整法の検討 (シンポジウム)
3. 学会等名 第60回日本定位・機能神経外科学会 (Web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、金 一徹、桑原 研、岡崎洋介、亀田雅博、安原隆雄、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 迷走神経求心路刺激・遠心路刺激のパーキンソン病モデルラットに対する有効性
3. 学会等名 第60回日本定位・機能神経外科学会 (Web開催)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、秋山麻里、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 両側淡蒼球内節刺激術が有効であったDYT1ジストニアの一卵性双胎例
3. 学会等名 第60回日本定位・機能神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木村 颯、佐々木達也、兵頭勇紀、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、伊達 勲
2. 発表標題 Rescue GPI-DBSが奏功したGNAO1遺伝子変異を有するジストニア重積の1例
3. 学会等名 第60回日本定位・機能神経外科学会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、亀田雅博、馬越通有、富田陽介、藪野 諭、菅原千明、伊達 勲
2. 発表標題 脳梗塞モデルラットに対するカプセル化SB623脳内移植による治療効果の検討
3. 学会等名 第46回岡山脳研究セミナー
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、駿河和城、細本 翔、米田 哲、亀田雅博、安原隆雄、柴田 敬、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 頭部外傷後West症候群に対して半球離断術を施行した1例
3. 学会等名 第15回日本てんかん学会中国・四国地方会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 脊椎・脊髄外傷 これだけは知っておきたい！（教育講演）
3. 学会等名 第44回日本脳神経外傷学会（現地・Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、湯本哲也、村井 智、中尾篤典、伊達 勲
2. 発表標題 集中治療室管理を要した重症頭部外傷症例の長期予後（シンポジウム）
3. 学会等名 第44回日本脳神経外傷学会（現地・Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 転倒を契機に脊髄損傷となり、外科治療を要した頸椎病変の2症例
3. 学会等名 第44回日本脳神経外傷学会（現地・Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 中枢神経系疾患に対する細胞移植療法・電気刺激療法・リハビリテーション（シンポジウム）
3. 学会等名 第126回日本解剖学会総会・全国学術集会、第98回日本生理学会大会 合同大会（Web開催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大熊 佑、篠崎広一郎、林田 敬、トレーシー ケビン、菱川朋人、安原隆雄、大同 茂、伊達 勲、ベッカー ランス
2. 発表標題 虚血再灌流障害急性期における高酸素投与の功罪
3. 学会等名 第46回日本脳卒中学会学術集会：STROKE 2021（現地・Web併催）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Yasuhara T, Umakoshi M, Kawauchi S, Yabuno S, Sugahara C, Date I
2. 発表標題 Treatment strategy for cervical spondylotic myelopathy: Opinion from a laminoplasty surgeon (Symposium)
3. 学会等名 The 11th Annual Meeting of Asia Spine (Virtual Meeting) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yasuahra T, Date I
2. 発表標題 The basics of spinal surgery for degenerative diseases (Keynote Lecture)
3. 学会等名 WFNS Foundation ACNS Cambodia, Myanmar, Thailand and Uzbekistan Joint Web Seminar 2020 (Webinar) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、富田祐介、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 Full HD/4K/8Kシステムを用いた高解像度鏡視下手術（シンポジウム）
3. 学会等名 第28回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、三國信啓、宮本 享、伊達 勲
2. 発表標題 頭蓋固定プレート・人工骨に関する合併症全国実態調査（合同シンポジウム）
3. 学会等名 第28回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、桑原 研、金 一徹、柴田 敬、亀田雅博、安原隆雄、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 難治性てんかんにおける頭蓋内電極留置と焦点切除の2段階手術を安全かつ整容にも配慮して行っている工夫（シンポジウム）
3. 学会等名 第28回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守本 純、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 3Dデータを用いた手術シミュレーション
3. 学会等名 第28回脳神経外科手術と機器学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井謙太郎、黒住和彦、安原隆雄、富田祐介、伊達 勲、山岡純三
2. 発表標題 Novo TTF-A100（オプチューン）による膠芽腫治療時におけるウィッグ作成の試み
3. 学会等名 第12回日本整容脳神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、富田祐介、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 小児脳腫瘍に対する鏡視下手術（シンポジウム）
3. 学会等名 第47回日本小児神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 脊椎脊髄手術 事始め 安全確実な脊椎脊髄手術のために（専攻医向けセミナー）
3. 学会等名 第39回日本脳神経外科コンgres総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 守本 純、安原隆雄、金 恭平、馬越通有、富田陽介、河内 哲、伊達 勲
2. 発表標題 胸椎レベルに独立した脊髄空洞症を伴ったC1/2部血管芽腫の1例
3. 学会等名 第34回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬越通有、安原隆雄、守本 純、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 片側椎弓切除による開窓で摘出を行った脊髄類皮嚢腫の1例
3. 学会等名 第34回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富田陽介、安原隆雄、馬越通有、金 恭平、守本 純、亀田雅博、伊達 勲
2. 発表標題 キアリ奇形I型の手術におけるデュラウェーブ による硬膜再建の1例
3. 学会等名 第34回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、亀田雅博、富田陽介、馬越通有、金 恭平、伊達 勲
2. 発表標題 高度下肢麻痺を呈し小児脊椎Langerhans細胞組織球症が疑われた1例
3. 学会等名 第34回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 脊髄癒着性くも膜炎に対する治療戦略
3. 学会等名 第34回日本脊髄外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄
2. 発表標題 中枢神経系疾患に対する再生医療とリハビリテーション医療の可能性（ランチョンセミナー）
3. 学会等名 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 木谷尚哉、杉生憲志、菱川朋人、安原隆雄、平松匡文、高橋 悠、村井 智、伊達 勲
2. 発表標題 ラット中大脳動脈閉塞モデルにおけるcrossed cerebellar diaschisis
3. 学会等名 脳循環代謝サマーキャンプ2019
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、富田祐介、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 トルコ鞍部・近傍病変に対する磁場式ナビゲーション併用高解像度鏡視下手術
3. 学会等名 第31回日本頭蓋底外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、菱川朋人、黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、平松匡文、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 頭蓋頭椎移行部腫瘍に対する治療戦略 5年間の自験例を振り返って
3. 学会等名 第31回日本頭蓋底外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 亀田雅博、徳山英二郎、妹尾貴矢、富田陽介、伊達 勲
2. 発表標題 斜頭蓋に対する手術による頭蓋底の歪みの改善効果の検討
3. 学会等名 第31回日本頭蓋底外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、菱川朋人、亀田雅博、黒住和彦、藤井謙太郎、平松匡文、佐々木達也、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 大学病院脳神経外科と地域医療の連携
3. 学会等名 第22回日本臨床脳神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菱川朋人、平松匡文、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 脳脊髄血管外科におけるfusion imageの有用性(シンポジウム)
3. 学会等名 第22回日本臨床脳神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、細本 翔、桑原 研、金 一徹、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 岡山大学における脳深部刺激療法の入院・外来における他職種・他診療科連携と課題
3. 学会等名 第22回日本臨床脳神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、亀田雅博、佐々木達也、守本 純、金 恭平、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、金 一徹、桑原 研、細本 翔、岡崎洋介、伊達 勲
2. 発表標題 中枢神経系疾患に対する細胞療法 基礎研究を行ってきた移植グループが国際共同研究に参加した経験
3. 学会等名 第20回日本分子脳神経外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、佐々田晋、豊嶋敦彦、守本 純、金 恭平、馬越通有、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 キアリ奇形および関連病態に対する最近の手術（主題）
3. 学会等名 第26回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、富田祐介、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 Full HD/4K/8K内視鏡による経蝶形骨洞手術（シンポジウム）
3. 学会等名 第24回日本脳腫瘍の外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒住和彦、藤井謙太郎、安原隆雄、富田祐介、山岡純三、伊達 勲
2. 発表標題 膠芽腫に対するNovo TTF-A100（オプチューン）治療におけるウィッグ作製の試み
3. 学会等名 第24回日本脳腫瘍の外科学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、金 一徹、桑原 研、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 岡山大学てんかんセンターにおける新皮質てんかんの外科治療の検討
3. 学会等名 第53回日本てんかん学会学術集会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、亀田雅博、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 中枢神経系領域における再生医療 脳神経外科での基礎と臨床における研究の現状と展望
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井謙太郎、黒住和彦、富田祐介、亀田雅博、菱川朋人、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 当院での高解像度3D外視鏡システムによるheads up surgeryの経験
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、金 一徹、桑原 研、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 新皮質てんかん38例に対する外科治療成績の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 馬越通有、安原隆雄、佐々木達也、村井 智、富田陽介、河内 哲、藪野 諭、伊達 勲
2. 発表標題 Parkinson病に伴う脊椎疾患に対する外科治療 術後2年の治療成績
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金 一徹、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、桑原 研、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、馬越通有、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 パーキンソン病モデルラットに対する迷走神経刺激療法の有効性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 桑原 研、佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、金 一徹、藪野 諭、河内 哲、富田陽介、馬越通有、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 パーキンソン病モデルに対する持続脊髄電気刺激療法の有用性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 河内 哲、安原隆雄、馬越通有、富田陽介、藪野 諭、亀田雅博、伊達 勲
2. 発表標題 脊髄症状を呈した悪性リンパ腫の3例
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藪野 諭、安原隆雄、亀田雅博、河内 哲、富田陽介、馬越通有、伊達 勲
2. 発表標題 当科における脊髄癒着性くも膜炎に対する治療
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 坪井伸成、黒住和彦、富田祐介、稲垣兼一、亀田雅博、安原隆雄、市川智継、大塚文男、伊達 勲
2. 発表標題 下垂体腺腫に対する経蝶形骨洞手術後の遅発性低Na血症についての検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅原千明、安原隆雄、佐々木達也、平松匡文、藤井謙太郎、亀田雅博、菱川朋人、黒住和彦、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 高度の浮腫を伴った頭蓋頸椎移行部血管芽腫に対して摘出術を施行した2症例の手術の工夫と術後経過についての検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、大西功真、黒川友里、岡崎洋介、金 一徹、桑原 研、亀田雅博、安原隆雄、上利 崇、伊達 勲
2. 発表標題 側頭葉てんかん手術における術中運動誘発電位モニタリングの有用性
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 胡谷侑貴、佐々木達也、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 Cyanotic congenital heart diseaseに合併した小児頭蓋内膿瘍の検討
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、細本 翔、桑原 研、金 一徹、亀田雅博、安原隆雄、秋山麻里、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 当院における小児てんかん42症例に対する外科手術の治療成績
3. 学会等名 (一社)日本脳神経外科学会第78回学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、富田祐介、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 鏡視下経蝶形骨洞手術における出血・虚血性合併症例の検討(シンポジウム)
3. 学会等名 第26回一般社団法人日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤井謙太郎、黒住和彦、島津洋介、富田祐介、亀田雅博、菱川朋人、安原隆雄、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 高解像度3D外視鏡を用いた当院での手術経験
3. 学会等名 第26回一般社団法人日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 富田祐介、黒住和彦、坪井伸成、稲垣兼一、亀田雅博、安原隆雄、市川智継、大塚文男、伊達 勲
2. 発表標題 下垂体腺腫に対する経蝶形骨洞手術後の遅発性低Na血症についての検討
3. 学会等名 第26回一般社団法人日本神経内視鏡学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平松匡文、石橋良太、高井洋樹、村井 智、鈴木越治、高橋 悠、木谷尚哉、菱川朋人、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 岡山県における脊椎脊髄動静脈シャント疾患の悉皆調査
3. 学会等名 第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 村井 智、平松匡文、石橋良太、高井洋樹、鈴木越治、高橋 悠、木谷尚哉、菱川朋人、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 岡山県における脳脊髄動静脈シャント疾患の悉皆調査
3. 学会等名 第35回NPO法人日本脳神経血管内治療学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、岡 洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 てんかん手術における確実な焦点切除と脳機能温存を両立させる工夫
3. 学会等名 第24回関西脳神経外科手術研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 中枢神経系疾患に対する再生医療とリハビリテーション医療の可能性
3. 学会等名 2019年岡山県理学療法卒後研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平松匡文、安原隆雄、杉生憲志、伊達 勲
2. 発表標題 Perimedullary AVFとepidural AVFを合併した1例
3. 学会等名 第8回 Interventional Anatomy in Neurovascular System (IANS) Seminar
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐々木達也、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 当院における新皮質てんかんの外科治療の検討
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 細本 翔、佐々木達也、兵頭勇紀、亀田雅博、安原隆雄、秋山麻里、秋山倫之、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 島回を発作焦点とするMRI陰性てんかんで再手術を要した1例
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々木達也、細本 翔、桑原 研、金 一徹、亀田雅博、安原隆雄、秋山麻里、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 当院における小児のてんかん外科手術の治療成績
3. 学会等名 第43回日本てんかん外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木達也、岡 洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 脳深部刺激療法の入院・外来における他職種・他診療科連携と課題
3. 学会等名 第59回日本定位・機能神経外科学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、安原隆雄、菱川朋人、佐々木達也、島津洋介、富田祐介、伊達 勲
2. 発表標題 鏡視下手術とナビゲーション・高解像度モニター（シンポジウム）
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 平松匡文、安原隆雄、杉生憲志、菱川朋人、春間 純、高橋 悠、村井 智、西 和彦、山岡陽子、伊達 勲
2. 発表標題 3DDSA-MRI fusion画像を用いた脊髄動静脈瘻の術前診断（シンポジウム）
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、菱川朋人、黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、平松匡文、佐々木達也、伊達 勲
2. 発表標題 頭蓋頸椎移行部腫瘍の画像診断と治療
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、守本 純、伊達 勲
2. 発表標題 最近経験した珍しい小児脊椎脊髄腫瘍の画像診断と治療
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 島津洋介、黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 トルコ鞍部・近傍病変に対する磁場式ナビゲーション併用高解像度鏡視下手術
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡崎洋介、佐々田晋、佐々木達也、細本 翔、桑原 研、金 一徹、亀田雅博、上利 崇、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 本態性振戦患者に対する定位視床手術におけるファイバートラクトグラフィーの有用性
3. 学会等名 第43回日本脳神経CI学会総会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒住和彦、亀田雅博、藤井謙太郎、島津洋介、富田祐介、坪井伸成、安原隆雄、伊達 勲
2. 発表標題 経鼻的経蝶形骨洞手術におけるフルHDと4K/8K内視鏡との比較
3. 学会等名 第30回日本間脳下垂体腫瘍学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 安原隆雄、湯本哲也、村井 智、中尾篤典、伊達 勲
2. 発表標題 集中治療室管理を要した重症頭部外傷症例の長期予後（シンポジウム）
3. 学会等名 第43回日本脳神経外傷学会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 佐々木達也、金 聖泰、岡崎洋介、細本 翔、亀田雅博、安原隆雄、小林勝弘、伊達 勲
2. 発表標題 運動野近傍に存在するFocal cortical dysplasia (bottom of sulcus)の1手術例
3. 学会等名 第14回日本てんかん学会中国・四国地方会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kidani N, Sugiu K, Hishikawa T, Yasuhara T, Hiramatsu M, Date I
2. 発表標題 Crossed cerebellar diaschisis following transient middle cerebral artery occlusion in rats
3. 学会等名 The 29th International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism and Function & The 14th International Conference on Quantification of Brain Function with PET: BRAIN & BRAIN PET 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishi K, Hiramatsu M, Sugiu K, Yasuhara T, Hishikawa T, Kidani N, Takahashi Y, Murai S, Date I
2. 発表標題 Significance of pre-operative angiographic diagnosis in cases of spinal dural and epidural arteriovenous fistula
3. 学会等名 15th Congress of The World Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhara T, Date I
2. 発表標題 Microscopic spinal surgeries, MIS-PLIF with percutaneous pedicle screw insertion
3. 学会等名 4th International Society of Minimally Invasive Neurosurgery (ISMINS): Minimizing Surgeries and Maximizing Outcomes in Neurosurgery (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhara T, Date I
2. 発表標題 Cervical spondylotic myelopathy - anterior versus posterior cervical laminoplasty: Opinion from a posterior dominant surgeon (Lunchon Seminar)
3. 学会等名 2019 Congress of Neurological Surgeons Annual Meeting: CNS2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メジカルビュー社	5. 総ページ数 176
3. 書名 脳神経外科手術のための術後感染症予防実践マニュアル	

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 脳神経外科手術 基本手技のバリエーション	

1. 著者名 安原隆雄、伊達 勲	4. 発行年 2019年
2. 出版社 メディカ出版	5. 総ページ数 288
3. 書名 疾患・術式別 脳神経外科手術合併症の回避・対処法Q&A156	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	黒住 和彦 (Kurozumi Kazuhiko) (20509608)	浜松医科大学・医学部・教授 (13802)	岡山大学より転出 変更：2020年5月1日
研究分担者	亀田 雅博 (Kameda Masahiro) (50586427)	大阪医科薬科大学・医学部・特別職務担当教員（講師） (34401)	岡山大学より転出 変更：2021年4月1日
研究分担者	菱川 朋人 (Hishikawa Tomohito) (60509610)	岡山大学・医歯薬学域・講師 (15301)	
研究分担者	佐々木 達也 (Sasaki Tatsuya) (80790865)	岡山大学・大学病院・助教 (15301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------